山梨大学 教育学部

Faculty of Education, University of Yamanashi

2023

山梨大学 教育学部は、人間の生涯発達を視野に収め、教育に対する情熱と課題を解決する高い実践力を備え、豊かな人間生活の構築に寄与する教育人の養成を目指します。

山梨大学
UNIVERSITY OF YAMANASHI
地域の中核 世界の人材

学校教育課程

教師になろう！

そのために必要とされる本当の学びが、ここにあります。

「なぜ」「どうして」と問うことから学びは始まります。
学校教育課程の授業は、「なぜ」「どうして」という問いと、
発見にあふれています。

MESSAGE

多様な人々と関わり、
我々としっかりと
人間力を高めましょう。

西に鳳凰三山を望み、武田神社を含む武田の里を抱える自然豊かな環境に囲まれ、南は甲府駅などの交通網が充実しており、都会的な要素と田舎的な要素とがうまく調和した中に我がキャンパスがあります。深い思索とゆとりある生活のためにはうってつけの場所です。

この環境の中で６００人余の教育学部生、教職大学院生、特別支援教育特別専攻科生が学んでいます。皆４年間勉学と遊びと各種の活動に励み、社会で活躍できる自立した人間に育って卒業・修了していきます。我が学部は教育学部であり、教員養成に関わる知識や実践を学ぶ目的を持っています。ここには皆さんを質の高い教員に育てるすべてが揃っています。

例えば、教育に係る理論と実践を融合した教育カリキュラム、特色あるコース・系・プログラムの専門性の高い授業や少人数指導の授業、充実した教育現場を体験できる教育実習、さらには合格率の高い試験対策が受けられる教職支援指導など、教師力を高める機会がたくさんです。

「人は教育によって人になる」といわれます。つまり、未熟な人間が教育によって社会で協調性があり、マナーを守る人間になり得るというのです。こうした人間を造り上げる教育のためには教師にも人間力が必要です。こうした人間力は大学のカリキュラムだけでなく、色々な人々と関係を深めることで成り立ちます。皆さんには入学後、多様な人間交流によって、確かな教師の力量とその基礎となる人間力をこの環境の中で身につけてください。

学部長
古家 貴雄

山梨大学 教育学部 2023

Faculty of Education, University of Yamanashi

CONTENTS

- 学部長メッセージ …… 1
- 教育学部の特徴 …… 3
- 教育学部での４年間 …… 5

教育学部 学校教育課程

幼小発達教育コース …… 7
「子どもが好き」のその先へ―幼・小の教育者（プロフェッショナル）になろう！

障害児教育コース …… 8
幅広い専門知識と技能を体得し、あらゆる子どもの多様な発達を支援

言語教育コース※
思考・表現・コミュニケーションの基盤となる言語を、幅広い視点から探究
- 国語教育系 …… 9
- 英語教育系 …… 10

生活社会教育コース※
身近な生活から人類共通の課題までを見通す広い視野と実践的指導力を養う
- 社会科教育系 …… 11
- 家政教育系 …… 12

科学教育コース※
理数離れに立ち向かい、自然科学の楽しさを伝える
- 数学教育系 …… 13
- 理科教育系 …… 14
- 技術教育系 …… 15

芸術身体教育コース※
芸術文化や身体運動を通じて、子ども達と歓びを分かち合う
- 音楽教育系 …… 16
- 美術教育系 …… 17
- 保健体育系 …… 18

山梨県小学校教員養成特別教育プログラム …… 19
山梨県内外の教育課題について広い視野から探究する

- 教職支援室 …… 20
- キャリア・就職 …… 21
- 教職大学院 …… 22
- 入試情報 …… 23

※最初はコースに入学し、１年次後期から希望の系に進みます。

学生の学年、卒業生の所属等は取材当時のものです。

山梨大学 教育学部の特徴

豊富な教育実践の場

教育実習・観察実習

取得する教員免許状に対する２つの校種（幼稚園、小学校、中学校、特別支援学校）で３年次に前期と後期の２回教育実習を行います。幅広い年齢層の子どもと数多く接する機会が本学部教育実習の特徴です。大半の学生は本学部に近接している附属学校園で行います。

さらに、教育実習への「ゆるやかな導入」として、２年次に観察実習を行います。学生は、先輩が教育実習生として授業を行っている様子を観察し、分析することで、翌年行う自身の教育実習の具体的なイメージをつかみます。

学生 Q&A

教育学部で得た知識を実践でき、大きな学びを得られる場です。

A. K. さん
（３年生：甲府南高校出身）

Q1／どこで教育実習をしましたか？
A1／前期は５月30日から甲府市立西中学校で３週間、後期は８月30日から山梨大学附属小学校で３週間実習に行きました。

Q2／教育実習ではどんなことをしますか？
A2／１週目は授業観察などを通して、子ども達への理解を深めていきます。２週目からは指導案を作成し授業を行って、先生方からフィードバックを受け、次の授業に生かします。

Q3／教育実習で一番学んだことは？
A3／授業を上手く進めるためには、休み時間などでの関わりを通して、子ども達のことをよく理解することが大切だということです。

附属学校園

本学部附属学校園（幼稚園、小学校、中学校、特別支援学校）は大学から徒歩５分圏内という近いところにあり、教育実習や観察実習以外にも、附属学校園の先生方の大学の授業への協力など、大学と附属学校園との連携が密接に行われています。また、附属学校園での公開研究会への本学部の教員・学生の参加や授業見学などもしやすく、教育現場を常に感じることができます。

❶ 附属幼稚園
❷ 附属小学校
❸ 附属中学校
❹ 附属特別支援学校

教育ボランティア

教育ボランティアは、教育者を目指す学生が教育の現場に触れて学びを深めることをねらった活動です。

活動の内容は、授業中や放課後の学習指導補助や、学校行事・部活動の指導補助、障害のある児童生徒の支援などです。この活動は「社会参加実習」という科目で単位化されており、30 時間の参加で１単位となります。毎年、約 200 人の学生が参加しています。子どもと関わることで、教育者として必要なこと、大切にすべきことに気づくことができます。教育ボランティアは社会貢献であると同時に「自己を発見」する機会にもなっています。

学生 Q&A

常に教育現場に触れられ、教員になるという夢への第一歩と感じました。

H. M. さん
（３年生：清流館高校出身）

Q1／どんな教育ボランティアに参加し、どのような活動をしていますか？
A1／中学校での授業における学習支援と部活動の支援を行なっています。私は大学で数学を専攻しているので、主に数学の授業の補佐をしています。また、高校での放課後の学習支援もしています。

Q2／教育ボランティアに参加してみてよかったことを教えてください。
A2／私は1年次から教育ボランティアに参加させていただいており、常に実際の教育現場の声に触れることができたため、自分の勉強のモチベーションが高まりました。

Q3／教育ボランティアで一番学んだことは？
A3／たくさんの生徒・先生と関わり、現場の声に触れる機会が多くなったことで、教育に正解はないということを学びました。生徒の実態や環境に合った教育を常に考えていきたいです。

２つの教員免許状を取得

本学部では、卒業に必要な単位（卒業要件）を取得することにより、教員になるために必要な教員免許状を取得できます。小学校教諭の免許状と、コース・プログラムや教科によって異なるもう一つの免許状の２つ（主免）を取得します。取得する免許状はコース・プログラムによって中学校教諭・特別支援学校教諭・幼稚園教諭の免許状となります。卒業要件で２つの免許状が取得できるのは珍しく、本学において幅広い教育能力を獲得した証と考えられます。

言語教育コース、生活社会教育コース、科学教育コース、芸術身体教育コースでは、１年次後期に、自分の意思で主とする免許状の教科を決定します。必要単位を取得することで、各教科の高等学校教諭の免許状も取得可能です。自分のコース・系・プログラムに関わらず、時間割が合って必要単位が取得できれば他の免許状（副免）も取得可能です。多種多様な教育機会に臨むことができる本学部のカリキュラムを通して、このように複数の免許状に出会うことができます。

卒業要件で取得する免許状	小学校教諭一種	小学校教諭二種	中学校教諭一種	中学校教諭二種	特別支援学校教諭一種	幼稚園教諭一種	幼稚園教諭二種
幼小発達教育コース	①	②				②	①
障害児教育コース	①				①		
言語教育コース	①	②	②	①			
生活社会教育コース	①	②	②	①			
科学教育コース	①	②	②	①			
芸術身体教育コース	①	②	②	①			
山梨県小学校教員養成特別教育プログラム	① ②			①	②		

各コース・プログラムにおいて、卒業要件で取得する免許状は①の組み合わせの２つか、②の組み合わせの２つかを選びます。

• 所定の単位を取得すると学校図書館司書教諭の資格（教員免許状取得が条件）、学芸員、社会教育士、（公財）日本サッカー協会公認キッズリーダーの資格、日本語教員養成プログラムの修了証も取得可能です。

少人数教育でキメ細かいサポート

学生１人に対して、教員が 1.3 名対応する体制で教育を行っています。

少人数グループワーク型基幹授業群によって、教育者に変化・成長していく力、そして教育者として学び続ける力をつけることができます。

１人の教員が 100 人以上の学生を対象に行っていた従来型の講義を、専門の垣根を越えた５人以上の教員が共同で担当する少人数グループワーク型授業へ転換し、これを中軸にカリキュラム全体を体系化しました。教育や保育などの様々な現場の産官と考察、小・中学校などの授業の観察と分析、模擬授業の実施と省察、教育に関する今日的な課題の検討などを経験することができます。

様々な学問分野の教員が揃っており、豊富な専門科目を提供しています。

教育学部の教員と学生の比率は **1 対 1.3**

専門科目は **少人数**

学生 Q&A

R. K. さん
（4 年生：市ケ尾高校出身）

Q1 ／**あなたの受講している少人数授業の科目名、及び受講者人数は？**

A1 ／地理の専門科目で、先生方を含め８名で受講しています。

Q2 ／**少人数授業の様子は？（一般の授業と比べての違いなど）**

A2 ／１年を通して、同じメンバーで授業を行うため、気兼ねなく意見を出し合うことができる雰囲気です。

Q3 ／**少人数授業を受講してみて良いところを教えてください。**

A3 ／一人ひとりに発表の機会があり、その発表に対して先生から意見をいただきながら、学生同士で議論することができる点です。

手厚い教職支援

- １年次から進路に関する個人面談を行い、一人ひとりに進路の聞き取りを行っています。
- 学校等での教育ボランティア活動を企画し、学生が子どもと接し、子どもへの理解を深める機会を作っています。
- 教員採用試験対策講座や個別指導を高頻度で行い、教員採用試験合格をサポートしています。

教職支援室における個別指導（2020.10〜2021.9）

総指導回数		指導人数		1人あたりの回数
2294回	÷	112人	＝	20.5回

教職支援室は、教員をめざす学生のために教員就職を手厚くサポート、バックアップしています！

先輩からの声

○指導がとても丁寧でわかりやすく、また継続的にみてもらえたので自分の力の伸びを実感できました。

○先生方のアドバイスや励ましのおかげで、教師になりたいという気持ちが強くなりました。

○進路について相談したとき、教師の魅力を十分に教えてもらい、はっきりと目指すことができました。

山梨大学 教育学部での４年間

１年次

１年次には、まず、教育学部としての初年次教育があります。心理学や教育原理などを学ぶ教職に関する科目、「国語」や「算数」など教科に関する初等○○科教育学や○○科内容論※という科目、また、各コース・系・プログラムの基礎科目を学びます。これら以外にも全学共通の教育科目によって、人間形成に関すること、英語やその他の語学、さらに人文科学・自然科学・社会科学・健康科学の４分野にわたる教養教育などを学び、知識、視野を広げます。教職に関する関心を向上させ、自分の将来に向けて、大学で学ぶ基礎体力をつける期間になります。自分の志望する系を決めるのも１年次です。 ※○○には教科名が入ります。

学部入門ゼミ／教育の現在

「学部入門ゼミ」は大学での生活・学修の基本的なオリエンテーションを行い、一般教養を含めた大学でのより高度な専門的知識を修得するために必要な基本的知識および基礎的な技能を学ぶものです。コース・プログラムごとに開講され、それぞれの特徴を踏まえ、将来教員になるための意識づけも含め、大学での基礎を学びます。

「教育の現在」は、教育の本質を歴史、環境、文化などの視点から理解することを目標とした科目で、学校以外の教育現場の訪問や、実務経験のある講師からの講義などがあります。多様な教育現場に関する議論や発表を少人数グループに分かれて行う基幹科目の一つです。

２年次

２年次からは各コース・系・プログラムの専門科目が本格的に始まります。専門的な内容のより深い理解は、実際に教壇に立ったときの「自信」につながります。

教職についての科目も特別活動や授業設計、授業分析などの内容を深く学びます。また、３年次に行う教育実習の準備として、先輩が行っている実習を見に行く観察実習も２年次の重要な科目です。実際の教育現場を見て、自分の１年後を想像しながら、これまでの教育学部での学びを振り返りつつ、専門科目や教職科目を学んでいきます。３年次に発揮したい実践力の土台を作る期間として、２年次を過ごします。

教育課程臨床論／観察実習

「教育課程臨床論」は、学校教育における教育課程の編成および実現の過程を学校現場の具体的事例を取り上げながら理解し、教育課程の意義や編成方法などを考える科目です。教育課程の編成に関する教師の仕事の実際に触れながら、これまで自分が受けてきた教育を再考し、教育をする側からも考えられるようになることを目指します。これも少人数グループによる基幹科目です。

「観察実習」では ３ 年次の教育実習の準備の一つとして、先輩実習生の授業を観察し、分析します。どのような視点で先輩の授業を見たら良いかから始まり、観察した授業について、担当教員・同級生とその内容や手法について議論します。

主な学部開講科目

- 学部入門ゼミ
- 情報科学入門及び実習
- 生涯発達教育心理学
- 児童期心理学
- 現代教職論
- 道徳教育指導論
- 少人数グループワーク型基幹授業群
- 初等理科実験
- 教育の現在
- 全学共通教育科目
- 初等○○科教育学、○○科内容論、中等○○科教育法※
- 社会参加実習（教育ボランティア）
- 学校教育相談論
- 特別支援教育論
- 教育課程臨床論
- コース・プログラム専門科目
- 総合的な学習の時間の指導法
- 特別活動論
- 学校臨床心理学
- 授業設計論（事前指導）
- 観察実習
- 教育の方法及び技術

主な進路支援

- 新入生ガイダンス
- 個別面談（進路相談）
- 進路支援ガイダンス
- 進路支援ガイダンス
- 個別面談（進路相談）
- ●教師力養成講座

※ ○○には教科名が入ります。

３年次

３年次には、いよいよ教育実習（前期・後期）があります。この実習および事前・事後指導を通して、教職に対するより実践的な力を身に着けます。初等○○科教育学や○○科内容論も３年次までに目標単位の取得を完了させます。専門科目もより本格的になり、多くのコース・系で卒業研究に向けた研究室配属が行われ、自分の選んだ専門分野・テーマについて、研究をスタートさせます。自分で課題を見つけ、それを解決する手段を考える力も、教育現場での実践力につながります。また、卒業後の進路に向けて具体的な対策を始め、支援を受ける時期でもあります。

教育実習（前期・後期）

本学部では、卒業要件で２つの教員免許状（小学校＋もう１つ）を取得します。そのため、取得する２つの免許に応じた教育実習があります（前期と後期の２回）。幼稚園から中学校、特別支援学校まで、多様な子どもと接する豊富な実践の場で幅広い教育力を育みます。

これまでの教職に関する授業、教科教育法や大学での事前指導を踏まえ、実習に臨みます。実習校の担当教諭の指導、同級生とチームを組んでの検討、大学に戻っての事後指導で、自分自身の教員への目標意識を高め、授業力を磨くことができます。近接する附属学校園や市内の公立学校での実習となります。

４年次

４年次は教育学部での学びの総まとめを行う１年になります。卒業論文やゼミナールを通して、それぞれの専門分野・テーマについての研究をまとめます。教職についての科目も理論・実践と総合的な力をつける内容です。多くの４年生が、同級生と一体となって、教員採用試験の準備に励み、教職支援室などのサポートのもとで、実際に受験します。本学部での学修によって高い教育力・実践力・教科の力をつけた教員となって卒業します。また、民間企業や公務員等に進路を定める学生も、大学の支援を受けながら、進路を決定します。

教職実践演習／卒業論文（ゼミナール）

「教職実践演習」は本学部で学んだ教職・教科に関する様々な知識と教育実習等で得られた実践的指導力との統合を図りながら、教師としての資質の総合的な向上を目指すためのまとめの科目です。実務家教員による現在の教育現場の問題点の講義とそれに対する少人数グループでのディスカッションを中心とした基幹科目の１つです。

「卒業論文（ゼミナール）」は大学での学びの総決算です。自ら選んだ研究テーマ（教育に関するもの、教科に関するもの）について、問題発見・解決およびその考察をまとめます。この過程で得る力は社会において非常に有用となります。

幼小発達教育コース

取得免許（卒業要件）

小学校一種 ＋ 幼稚園二種
または
幼稚園一種 ＋ 小学校二種

学生が近年取得したその他の免許

特別支援学校一種 など

「子どもが好き」のその先へ－幼・小の教育者（プロフェッショナル）になろう！

このコースでは、乳幼児期から児童期の子どもの発達や教育に高い関心をもって、将来教育の場で活躍したい人を求めています。

子どもが好きというみなさんの気持ちを大切にしながら、子どもと対話し、その思いや願いに寄り添う教育者になれるような専門的なカリキュラムを用意しています。子どもの発達、子ども理解の視点、保育・教育の内容と方法、思想、歴史、社会的背景、環境、制度、政策の現状と課題などについて、教員と学生がともに、対話を通して広く深く学びます。また、教育実習のほかに、コース独自の科目である「継続観察実習」等で、継続的に附属幼稚園で実践を学ぶ機会があります。

卒業生は、幼稚園や小学校教師を中心に、保育士その他子どもの育ちに関わる仕事に就いています。

● カリキュラム・特徴ある授業や取り組み ●

幼小発達教育コースでは、幼稚園教諭免許状と小学校教諭免許状の両方の取得が卒業要件となります。そのために、教養教育である全学共通科目、各教科の内容を学ぶ教科専門科目、教職に関わる知識や技術を学ぶ教職専門科目などを履修します。コースの専門科目では、これらを発展させ、教員と学生が対等に議論しながら、教育学・幼児教育学・発達心理学について専門的かつ横断的に学び、これからの教育を探究します。

●主な授業科目　※授業科目名は変更になる場合があります。

1年次	2年次	3年次	4年次
幼児の発達理解とカウンセリングマインド	保育内容総論	保育思想演習	保育思想研究
保育実践演習Ⅰ	継続観察実習	教育方法学演習	教育方法学研究
保育・幼児教育制度論	幼小発達教育基礎論	教育思想演習	教育思想研究
	保育内容（各種）	比較教育学演習	比較教育学研究
	保育実践演習Ⅱ	発達心理学演習	発達心理学研究
		教育問題概論	

継続観察実習

この授業では、附属幼稚園での継続的な幼児観察と、その記録に基づくディスカッションを通して、子ども理解を深めるとともに、保育者の見取りと保育実践のつながり・カリキュラムのあり方について理論的・実践的に考えます。３年次の教育実習への準備にもなっている本コースだけのオリジナルな専門科目です。

幼小発達教育基礎論

この授業では、コース教員全員による各専門分野の紹介を通して、教育・保育の現代的な研究課題について学びます。教師になるための技術や知識を覚える学びから、社会や人間のあり様へと視野を広げ、そこで行われる教育・保育について、自身の関心にひきよせて考え、調べ、追究する学びへと扉を開く科目です。

MESSAGE

学生メッセージ ● 4年生 M. A. さん（甲府西高校出身）

子どもの世界から学び、グループワークを通じて視野を広げ、高め合い、成長する。

幼児教育や小学校教育には正解がないので、授業や教育実習で難しさを感じる場面がたくさんあります。しかし、授業でグループワークが多く設けられているため、友達の考えから刺激をもらい、教師の魅力を日々感じています。卒業後は、子ども一人ひとりの個性を尊重し、一緒に成長していく先生を目指しています。

教員メッセージ ● 岩井哲雄 先生（専門分野：教育哲学）

学生の成長と夢の実現を応援します。

本コースは、定員13名に対し教員5名を配置する恵まれた環境を活かし、きめ細やかな指導に力をいれています。教員の専門も多彩なので、色々な世界を知り自己を確立するには最適な環境にあります。日頃の学習活動から卒業研究の指導、就職に関する指導・助言まで、みなさんの自己実現を全力で支援します。

障害児教育コース

取得免許（卒業要件）

小学校一種
＋
特別支援学校一種

学生が近年取得したその他の免許

中学校一種（各教科）など

幅広い専門知識と技能を体得し、あらゆる子どもの多様な発達を支援

障害児教育コースでは、障害のある子どもをはじめとする、あらゆる子どもの多様な発達を支援できる特別支援学校教員の育成を目指しています。

一人一人の教育的ニーズに応えるために、子どもの発達援助に関する専門的な知識や技術をもった教員を小学校などに送り出すことも目指しています。専門科目では、障害のある子どもの教育課程や授業論、発達アセスメントや発達援助法等について、教育学・心理学・生理学等に関する講義や演習、実験、実習を通して専門的・系統的に学びます。

卒業と同時に特別支援学校一種と小学校一種の教員免許状を取得することができますが、その他、学生個人の進路計画によりそれ以外の教員免許状を取得することもできます。

● カリキュラム・特徴ある授業や取り組み ●

1年次は、特別支援教育に関する基礎知識や障害の概念について学びます。2年次から知的障害・肢体不自由・病弱を中心に、発達障害や視覚障害、聴覚障害、重複障害、その他特別な支援を必要とする子どもとその支援の在り方について学びを進めます。3年次にはこれまでの学びを土台に、障害のある子どもを観る視点や発達を援助するための教材について演習科目や教育実習を通して理解を深め、特別支援教育に関する専門性を高めます。

●主な授業科目

1年次	2年次	3年次	4年次
特別支援教育総論Ⅰ・Ⅱ	知的障害児教育課程論Ⅰ 知的障害児心理学Ⅰ・Ⅱ 肢体不自由児心理学 病弱児指導法 重複障害児教育概論 障害児指導法	障害児教育学演習Ⅰ・Ⅱ 障害児心理学演習Ⅰ・Ⅱ 障害児教育研究法 障害児教育教材研究	卒業研究の主なテーマ 知的障害・肢体不自由・病弱および発達障害などを対象とした、教育学・心理学・生理学に関する研究（フィールドワークや実験、観察など）

知的障害児教育課程論Ⅰ

知的障害のある子どもが通う特別支援学校の教育課程について学びます。「日常生活の指導」や「各教科等を合わせた指導」など特徴のある教育について、実際の学校場面でどう展開されているかを視聴して話し合ったり、学生自らが実際に指導案を作成して模擬授業をしたりして、実践力を高めていきます。

障害児教育教材研究

子どもの状態に合わせた教材教具を、これまで学んできた特別支援教育に関する理論や実習経験をもとに作成します。また、子どもが楽しめる教材作成を通して障害に関する理解を深めます。作成した教材教具は、附属特別支援学校が発行する「教材・教具アイデア集」に収録し、特別支援学校や小学校の先生に配布されます。

MESSAGE

学生メッセージ ― 4年生 N. H. さん（富士河口湖高校出身）

分からないことを分かるまで、できないことをできるまで、繋がりの強さによる深い学び

本コースのよさは少人数制を活かした繋がりの強さ。実習や教員採用試験など、様々な不安もありましたが、先生はもちろん、親身に相談に乗ってくれる先輩や高め合える仲間の存在により、不安ゼロで大学生活を送ることができました。不安を自信に変えることができる。障害児教育コースは、そんな素敵な場所です。

教員メッセージ ― 吉井勘人 先生（専門分野：教材教具論）

一人一人の子どもに寄り添い、子どもから学び、チームで子どもの学びを支える教育

現代は、人々の多様な在り方を互いに認め合い、誰もが共に生きるインクルーシブ社会を目指しています。障害児教育では、障害のある子ども一人一人の尊厳を大切にし、その子どものよさや可能性を最大限に引き出すことを目指して、チームによる教育を行います。「教育の原点」と呼ばれる障害児教育を学んでみませんか。

言語教育コース 国語教育系

取得免許（卒業要件）

小学校一種 ＋ 中学校二種（国語）
または
中学校一種（国語） ＋ 小学校二種

学生が近年取得したその他の免許

高等学校一種（国語、書道） など

あらゆる観点から国語教育をとらえ、追究する

国語教育系では、学校で学ぶ「国語科」にまつわるさまざまな問題を追究します。そのために、日本語学、日本文学（古典・近代）、漢文学、書写・書道、国語科教育学、日本語教育学など幅広い分野の学習・研究を通して考えていきます。

３年次からは、一人一人が関心のある分野について深く研究し、卒業論文に取り組んでいきます。それぞれの分野のスタッフがそろっていて、きめ細かい指導が受けられることが国語教育系の「強み」です。卒業生の多くは、小学校、中学校の国語の免許だけでなく、高校の国語や書道の免許も取得しています。また、大学で培った教科の専門性を生かして、小学校、中学校国語、高校国語の教員として、教壇に立って活躍しています。

● カリキュラム・特徴ある授業や取り組み ●

一年生では全学共通科目を中心に、学部入門ゼミ等の学部共通科目、初等国語科教育学など小学校の教科教育学を履修します。二年生では国語学、日本文学（古典・近代）、漢文学、書写書道等の専門科目に加え、中等国語科教育法を履修、更に国語教育の演習もスタートします。三年生からは専門科目の演習に加え、各自一つの研究法（卒論ゼミ）を履修します。四年間を通して、専門的力量をもった国語教員の基盤を養います。

●主な授業科目

１年次	２年次	３年次	４年次
学部入門ゼミ	中等国語科教育法	国語学演習	国語学研究法
初等国語科教育学	国語学概論	古典文学演習	古典文学研究法
日本語教育概論	日本古典文学史	近代文学演習	近代文学研究法
	日本文学概論	漢文学演習	漢文学研究法
	漢文学概説	書道科教育学	書写・書道研究法
	書写演習	国語科授業開発演習	文学教育研究法

中等国語科教育法Ⅰ

中学・高校の国語科の授業づくりについて学びます。生徒が授業を通して、言葉について考え、言葉の世界の奥の深さを感じとっていけるようになるために、教師がするべきことを考えます。教材価値を生かす教材研究の方法や、多様な考えを引き出すための発問の在り方について、意見交換をしながら考察していきます。

国語学演習

平安時代の説話『今昔物語集』を題材に、ことばの意味の変化や当時の使い方について、学生が調べ発表する授業です。今と変わらないように見えることばが、実は平安時代には全く違う意味・文脈で使われることがあります。気づかなかったことに立ち止まり、調べていくことで、作品の魅力に気づけるようになります。

MESSAGE

学生メッセージ ― 3年生 N. S. さん（星陵高校出身）

国語が好きな人、あつまれ！ つながりの中で学びを深めよう。

私は、教師になりたい、昔から好きな国語を活かしたいという思いから国語教育系に入りました。今は、4つの免許と1つの資格取得に向けて日々励んでいます。国語教育系は、学習面はもちろん同級生や先輩と食事をとるなど、生活面も充実しています。国語が好き、もっと知りたいという方をお待ちしています。

教員メッセージ ― 尾形　大 先生（専門分野：日本近代文学）

もっと国語を好きになれる！
国語の魅力を学び、教壇で伝えられる教員を目指して。

文学研究は教壇に立つ皆さんの大切な土台となります。たとえば夏目漱石の『こころ』は教科書では「下」の後半のみ抜粋されます。文学研究では全体像を明らかにする視点に立ち、作家や語りの問題、同時代の社会状況や価値観、掲載紙、原稿類など多様な分析を試みます。一緒に文学、国語の豊かさを発見しましょう。

言語教育コース 英語教育系

取得免許（卒業要件）

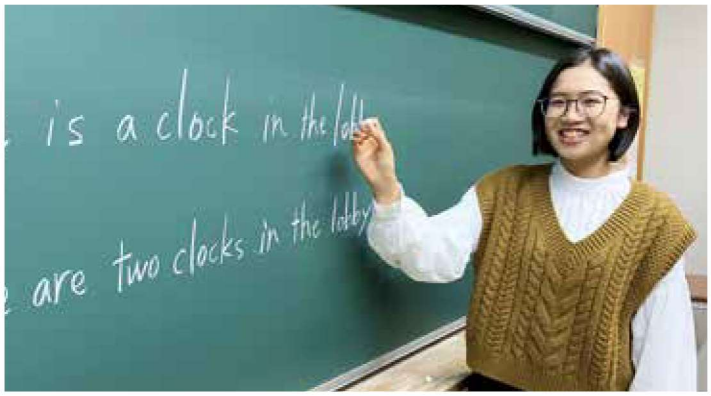
小学校一種 ＋ 中学校二種（英語）
または
中学校一種（英語） ＋ 小学校二種

学生が近年取得したその他の免許

高等学校一種（英語） など

英語を学び味わう楽しさ、英語を教える喜びを知ろう

英語教育系では、英語のコミュニケーション力を身につけながら、英語の体系や英米文学における表現についての探求を深め、効果的な英語の指導を行うことのできる実践力を備えた人材を養成します。 具体的には、（1）英語ということばの知識体系の解明を目指す英語学、（2）作品の講読を通し、深い英語力をつけると共に、人生を考え、豊かな心を養う英米文学、（3）聞く・話す・書く等の実践的な英語力を育む英語コミュニケーション、（4）英米の文化について学び、自国の文化との比較も行う異文化理解、（5）英語習得のメカニズムと効果的な教授方法について研究する英語教育学、などを日本人教師あるいは外国人教師とともに学びます。



● カリキュラム・特徴ある授業や取り組み ●

英語教育系のカリキュラムでは、１年次に「学部入門ゼミ」を履修し、言語教育コース各教員の専門分野を知り、学ぶ領域の全体像をつかみます。２年次からは専門科目の履修が始まり、英語学、英米文学、英語教育学などの分野にわたって専門知識と応用力を身につけます。３年次には自らの研究分野に応じてゼミを選択し、４年次に卒業論文に取り組みます。実習としては、２年次に観察実習、３年次に教育実習を行います。

●主な授業科目

１年次	２年次	３年次	４年次
学部入門ゼミ 初等外国語科教育学	中等英語科教育法 英語授業実践演習 言語学概論 アメリカ文学史 英語発音法 英語会話	英語教育教材教具論 英語教育の諸問題 英文法演習 英米文学演習 異文化理解 英語ライティング	第二言語習得論 英語学演習 英米文学講読 イギリス文学史 英語スピーチ演習 異文化間コミュニケーション

中等英語科教育法

中等英語科教育法とは、中学校や高校における教科としての英語をどのように生徒に教えるかを学ぶ授業です。この授業では、英語科教育法の理論と技術について学び、実際の英語授業を想定した具体的な課題に取り組むことにより、将来教壇に立つに当たり必要となる基本的かつ重要な指導技術を身につけます。

言語学概論

言語学は、母語話者の持つことばの知識がどのような体系なのかを探る学問です。この授業では、英語や日本語を母語とする人のことばの知識について、音や語、句、文の性質や意味などの側面から具体例を通して検討します。英語などの外国語と日本語には、違いばかりでなく、共通点が多くあることも学びます。

MESSAGE

学生メッセージ ― 3年生 A. K. さん（駿台甲府高校出身）

仲間や先生と協力しながら、理想の教師像を作り上げる豊富な実践と模擬授業の場

英語教育系では英語の知識を深める授業の他に、英語の授業作りに特化した授業が充実しています。授業内では模擬授業の場が多くあり、自分が教師としてどのように指導するのかイメージを膨らませることができます。また、仲間や先生方との距離が近くとても良い雰囲気の中で学ぶことができるのも大きな特色です。

教員メッセージ ― 奥村直史 先生（専門分野：アメリカ文学）

大学生活は新たな巡り会いがいっぱい。知的好奇心を持って掘り下げよう。

大学の４年間は自由を満喫できる特別な時期ですが、何気なく過ごしているとあっという間に過ぎでしまいます。身の回りの出来事や授業で習ったことなど、なぜそうなの？と思う知的好奇心を大切にして、自分なりの「わかった」を追及してください。しかし、やりすぎは“Curiosity killed the cat.”と諺にもあるのでご用心。

生活社会教育コース 社会科教育系

取得免許（卒業要件）

小学校一種 ＋ 中学校二種（社会）
または
中学校一種（社会） ＋ 小学校二種

学生が近年取得したその他の免許

高等学校一種（地理歴史、公民）など

「社会は暗記科目だから」なんて言わせない！

地理・歴史・哲学倫理学・法学・経済学・社会科教育学などを専門とする研究者を擁し、社会を深く知るための教養と、高い実践力をもつ教員の養成を目指しています。

１年生の秋に社会科教育系への所属が決まり、２年生の秋に卒業論文の指導教員が決定します。３年生からは教員の指導のもとで各分野の専門的な研究を行い、４年生で卒業論文を執筆します。既存の知識を「獲得」するだけでなく、その「獲得方法」や「創出方法」を、さまざまな学問を通じて身につけられるのが社会科教育系の特徴です。小学校と中学社会科のほか、高校地歴・公民の免許も取得できます。卒業後は半数以上が主に小中学校の教員として活躍しています。

● カリキュラム・特徴ある授業や取り組み ●

１年次では学部入門ゼミのほか、社会科内容論などで社会科の各分野の導入を行います。２年次には、概説・概論などの必修科目を履修し、社会科を構成する全分野の基礎力を身に付けます。３年次では、卒論の指導教員のもとで、演習・実習などのゼミを選択して各自の専門分野を深めるとともに、教育実習での実践を試みます。４年次では、教員採用試験などの就活を進めながら、４年間で学んだことを卒業論文にまとめます。

●主な授業科目

１年次	２年次	３年次	４年次
学部入門ゼミ 社会科内容論 初等社会科教育学	中等社会科教育法 日本史概説 地理学概論 法律学概説 哲学概論 社会科教育学概論	日本史演習 西洋史演習 地理学野外実習 経済学講読 哲学倫理思想史 社会科授業構成論	歴史学特別演習 地理学演習 経済学演習 哲学倫理学演習 社会科教育学研究法 卒業論文

社会科教育学概論

「社会科」とは、どのような教科であり、どのような教科ではないのでしょうか。いかなる教育こそが「社会科」の教育と呼ぶにふさわしいのでしょうか。そのような教育をどのようにして可能にすることができるのでしょうか。これらの問いを受講者が教育実践に関する個々の具体的なテーマに即して追究します。

経済学講読Ⅰ

社会を理解し、人に説明するためには、様々な資料を扱う必要があります。そこで本授業では、数値を解釈し、説明に用いることができるよう、計算や加工の方法を教えています。なお、ただ表計算ソフトを使って処理するだけでなく、定義や方法を確認し、説明する内容を慎重に準備することも説いています。

MESSAGE

学生メッセージ ● 4年生 A. I. さん（甲府東高校出身）

専門教科に関する学びを深め、全ての校種に対応できる教師力を身に付ける。

社会科に関わるテーマを広く深く学べるとともに、小中高の教師としての実践的な指導力を身に付けることができます。3年生からは、自分の課題意識に基づき、少人数のゼミで卒業論文執筆に向けて研究に取り組みます。私は社会科教育学ゼミでの研究を生かし、4月より山梨県の中学校で社会科教師として頑張ります。

教員メッセージ ● 相澤康隆 先生（専門分野：哲学・倫理学）

大切にしなければならないのは、ただ生きることではなく、よく生きること。

私の専門はギリシア哲学で、近年はソクラテスを中心に研究しています。ソクラテスは「大切にしなければならないのは、ただ生きることではなく、よく生きることだ」と言いました。哲学を、そして社会科のその他の科目を学ぶことを通じて、よく生きることについて学生たちに考えてもらいたいと思っています。

生活社会教育コース 家政教育系

取得免許（卒業要件）

小学校一種 ＋ 中学校二種（家庭）
または
中学校一種（家庭） ＋ 小学校二種

学生が近年取得したその他の免許

高等学校一種（家庭） など

持続可能な社会をめざして明日の生活を創造しよう

私たちの生活をよりよくしたいと思いませんか？　自分らしく、支え合いながら、豊かに暮らしたいと思いませんか？　私たちの日々の暮らし（生活）の基礎となる「家庭」を中心に、生活を科学するのが「家政学（生活科学）」です。この家政学を学問的基盤とし、人間、社会、環境とのかかわりを重視し、よりよい暮らしを創造・実践していくのが「家庭科」です。近年、生活にかかわる課題は多様化・重層化しつつありますが、これらの課題の解決と持続可能な社会を構築していくために家庭科では多様性（ダイバーシティ）などグローバルな視点を大切にしています。

自立・共生と豊かな暮らしの実現を目指して未来を切り拓く家庭科について、共に学びましょう。

● カリキュラム・特徴ある授業や取り組み ●

小学校及び中学校・高等学校の家庭科教員免許に対応し、被服学、食物学、住居学、家庭経営学、保育学の各専門領域と、教科の理論や指導法を学ぶ家庭科教育学をバランスよく学べます。授業は、講義のほか実習・実験・演習など多様な学習形態を取り入れ、講義で学んだことを知識・技能として定着させることができます。生活者として、教員としての高い実践力を身につけられるようなカリキュラムとしています。

●主な授業科目

1年次	2年次	3年次	4年次
初等家庭科教育法 家庭科内容論	中等家庭科教育法 被服学概論 食物学概論 住居学概論 家庭経営学概論 保育学	中等家庭科授業演習 被服科学 食生活論 住居設計・製図 子ども文化論	家庭科教育学 食物学実験 家族関係論 卒業論文

被服学概論（被服製作実習を含む）

この授業ではスモックと浴衣をつくります。身体を包むには意外と大きな布が必要で、スモックなら 110 ㎝幅の布を 2m くらい、浴衣なら 36 ㎝幅の布を 11mくらいになります。これを和洋の縫製技法を駆使し、衣服の形にしていきます。製作は大変ですが、体験することで得る理解と出来上がった時の喜びは格別です！

家庭経済学

写真は、担当教員が作成した子どものおこづかいに関する「すごろく教材」を試行しているところです。この後、家庭や学校でどのように金融経済教育を進めたらよいか、各自の経験を踏まえてディスカッションしました。家庭科教員として指導できる基礎知識をつけ、また自分の生活にも活かせるようにします。

MESSAGE

学生メッセージ　4年生 M. K. さん（甲府西高校出身）
A. E. さん（甲府第一高校出身）

アットホームな家庭科教育系で、実生活にも役立つ多くの学びを得ることができました。

家庭科の専門的な知識を持った熱心な先生方から、一人ひとり丁寧な指導を受けることができます。各分野の授業で学んだ内容は、家庭科の教師になるための学びとしてはもちろんですが、毎日の生活にもとても役立っています。アットホームな雰囲気で楽しく家庭科を学ぶことができ、学生生活が充実しています。

教員メッセージ　田中　勝 先生（専門分野：住居学）

家庭科は「生活」を科学する教科です。豊かな暮らしについて一緒に考えませんか？

「住まい」はあなたにとって一生のパートナーです。そこには家族の笑顔があり、明日に向かってチャージすることができます。快適で安心・安全な住まいや住まい方について考えるのが家庭科の住居学。住まいは生き方の表現とも言えます。台所から地球環境までグローバルな視点から住まい方を考えていきませんか？

科学教育コース 数学教育系

取得免許（卒業要件）

小学校一種 ＋ 中学校二種（数学）
または
中学校一種（数学） ＋ 小学校二種

学生が近年取得したその他の免許

高等学校一種（数学） など

数学で考え、数学で表現する力を育てるプロになる

数学は現代の高度情報化社会において、学問としてその社会の発展を促すだけでなく、その社会で生き抜く上で大切な言葉と論理的な思考力を与えるものです。そのため、小学校から高等学校までの学校教育において、子どもたちに本質に迫る算数・数学教育を行うことが重要です。数学教育系では、小中高の算数・数学の内容だけでなく、その背景にある専門的な数学の知識やその考え方を身につけること、子どもたちの思考や知識の獲得の仕方を学んで教材開発や学習指導を創意工夫して実行できることを両輪とした教育を行います。結果として、数学の専門知識をもち、それを的確に表現し、子どもたちの考える力を育成できる教育のプロを育てることが目標です。

● カリキュラム・特徴ある授業や取り組み ●

数学教育系では、数学教育学、代数学、幾何学、解析学、確率・統計学などを講義・演習を通じて学びます。数学の専門的な知識を確実にするとともに、算数・数学の授業で何をどう教えるかや児童・生徒の思考についても考えます。3年次からは数名ずつのそれぞれ興味のある専門のセミナーに分かれて、各自の研究テーマに取りかかり、現代数学や数学教育学の知識と考え方を身につけ、4年次に卒業論文として仕上げます。

●主な授業科目

1年次	2年次	3年次	4年次
線形代数学 微分積分学	中等数学科教育法 集合と写像 関数と数列 立体の幾何学 微分方程式 確率論	数学教育学習論 関数の空間 曲線の幾何学 数理統計学 複素関数	数学教育認識論 卒業論文の主な分野 数学教育学 統計学 結び目理論

集合と写像

例えば、自然数と整数はどちらが「多い」でしょうか？この質問は集合と写像を学ぶと答えられます。現代数学はどの分野でも集合と写像の言葉で記述されています。この授業では命題と論理、集合、写像、同値関係など、数学を学ぶ上で基礎となる概念・仕組みを理解し、その論理的な表現方法について学びます。

中等数学科教育法

数学の教員を目指すには数学教育学を学ぶ必要があります。中学校で扱う定理等を検討し高校とのつながりを考察すると、これまで分かっていたと思っていた内容の理解がさらに深まります。この理解を基にして、生徒が自ら考え判断できるような学習指導を目指し、数学の教材研究、授業研究をこの授業では行います。

MESSAGE

学生メッセージ ● 2年生 R. M. さん（甲府昭和高校出身）

数学教員を目指す人のための素敵な環境が整っていると感じます。

数学教育系では、数学の専門知識はもちろん、模擬授業や教育実習を通して様々な経験と学びを得ることが出来ます。同じ目標を持つ仲間と互いに良い刺激を受けながら毎日楽しく大学生活を送っています。私は２年生になってから幼稚園教諭免許の取得も目指しています。やりたいことに全力で取り組める環境です。

教員メッセージ ● 中村拓司 先生（専門分野：結び目理論）

数学を通して「なぜ？」を「なるほど！」に変える、そんな体験をともにしていきましょう。

私の専門は結び目理論という幾何学の一種です。空間の中の結ばれた１本の輪がほどけているかどうかを数学的に判定するという分野です。学生のころに、こんなものが数学の対象になるのかと面白く感じ、そのまま現在に至ります。一緒に数学の自由さ・楽しさ・面白さを学んで、それを伝える教員を目指してみませんか？

科学教育コース 理科教育系

取得免許（卒業要件）

小学校一種 ＋ 中学校二種（理科）
または
中学校一種（理科） ＋ 小学校二種

学生が近年取得したその他の免許

高等学校一種（理科） など

理数離れに立ち向かい、自然科学の楽しさを伝える

理科教育系では物理学、化学、生物学、地学、理科教育学の５分野を深く学べる講義・演習、実験・実習等、広範なカリキュラムを開設しています。また、希望する何れかの分野の研究室に入り、一人の教員に対して数名の学生という指導体制のもとで卒業研究を行います。理科教育系の学生は卒業研究を通して、自然科学を論理的にわかりやすく説明できる能力、つまり実践的教育能力を身につけることができます。さらに、理科の教員免許以外にも山梨 CST（コア・サイエンス・ティーチャー）という山梨県における理科の中核教員としての資格も取得できます。理科を深めその魅力を伝えたいと思っているなら、是非、理科教育系で理科の本質やその伝え方を学びましょう！

● カリキュラム・特徴ある授業や取り組み ●

理科関連科目として、１年次は生物学一般、地学一般、初等理科実験、化学実験、地学実験、初等理科教育学、２年次は理科教育教材分析論Ⅰ、物理学一般、化学一般、物理学実験、生物学実験、中等理科教育法、３年次は理科教育教材分析論Ⅱ、理科教育課程論を履修し、４年次は卒業研究を行います。その他、電磁気学、熱力学、有機化学、無機化学、植物学、多様性生物論、地球変動学、地球環境史、野外実習等も履修します。

●主な授業科目

１年次	２年次	３年次	４年次
生物学一般 地学一般 初等理科実験 化学実験Ⅰ･Ⅱ 地学実験Ⅰ･Ⅱ 初等理科教育学	理科教育教材分析論Ⅰ 物理学一般 化学一般 物理学実験Ⅰ･Ⅱ 生物学実験Ⅰ･Ⅱ 中等理科教育法	物理学／化学／生物学／地学／理科教育学セミナーⅠ･Ⅱ 理科教育課程論 理科教育教材分析論Ⅱ 理科教育学実験	卒業論文

生物学実験

生物学実験では野外に出て学内の草や木、川に生息する生物を採集して観察したり、基礎から顕微鏡の使い方を学び、種子植物の花粉やその発芽、染色体、減数分裂、シダ植物の胞子などの観察を行ったり、ザリガニ、二枚貝、フナ類の外部及び内部形態の観察や同定、自分の DNA 抽出・増幅・検出などを行ったりします。

山梨CST（コア・サイエンス・ティーチャー）

山梨 CST とは、山梨県における理科教育の中核となる教員養成プログラムです。多くの学生が受講しており、理科の中核教員としての資格認定を受けています。山梨県立科学館での科学工作や天文実習、県内の最先端科学施設や富士湧水の里水族館の見学など、山梨の魅力を知るための様々なプログラムを受講できます。

MESSAGE

学生メッセージ ● 4年生 Y. K. さん（巨摩高校出身）

実験や研究を通して専門性を高め、理科の面白さを再発見できます。

理科教育に関する全ての分野で実験を行って知識や技能を身に付ける中で、自分の興味のある分野を選択し、より深く研究できます。また、分野ごとに高い専門性を持った先生方から、すぐに指導を受けることができます。実際に自分の目で見たり、経験したりすることを通して理科の面白さを感じて欲しいと思います。

教員メッセージ ● 宮崎淳一 先生（専門分野：発生進化学）

生物多様性の保全の意義や生物多様性を生出した地球史を理解し子ども達に伝えて欲しい。

現在は生物の大量絶滅の時代と言われている。SDGs が声高に謳われる中、多くの生物が消滅してしまっても人類の sustainable development は可能なのか？

将来教員になる学生が生物多様性の重要性や地球史の中でどのようにそれが培われてきたか理解して子ども達に伝えて欲しい。

科学教育コース 技術教育系

取得免許（卒業要件）

小学校一種 ＋ 中学校二種（技術）
または
中学校一種（技術） ＋ 小学校二種

学生が近年取得したその他の免許

中学校一種（数学） など
高等学校一種（工業）が取得可能

理論と実習を通して「ものづくり」の考え方を学ぶ

技術教育系では、生活や社会において様々な技術が複合して利用されている現状を踏まえ、材料、加工、生物育成、エネルギー変換、情報等の専門分野における重要な概念等を基にした教育を実施しています。また、安全・安心な社会の構築、職業人としての倫理観、環境保全やエネルギーの有効な活用、産業のグローバル競争の激化、情報技術の技術革新の開発が加速することなどを踏まえ、ものづくりを通して、地域や社会の健全で持続的な発展を担う人を育成する教育を行っています。技術教育系では、科学技術における"ものづくり"を基本としつつ、単に「物を作る」ということでなく、理論・実験・実習を通してその根底にある科学的な見方や考え方を学ぶことができます。

● カリキュラム・特徴ある授業や取り組み ●

技術教育系のカリキュラムは、材料、加工、生物育成、エネルギー変換、情報等の専門分野の基礎理論を始めに学習します。その後、実習を行うことによって、各分野の理解を深めるとともに、各分野を融合した総合的な技術を学びます。仕組みや構造を理解して単純に「物を作る」ということではなく、科学技術における「ものづくり」を基本とし、その根底にある科学的な見方や考え方を修得するために学んでいきます。

●主な授業科目

1年次	2年次	3年次	4年次
電気回路	機械工学Ⅰ	情報概論Ⅰ	機械基礎力学
材料加工学	電気応用概論	栽培学（実習を含む）	電子工学概論
金属工学	金工設計製図	機械基礎実習Ⅰ	論理回路
木材工学	金属加工実習Ⅰ	電子工学実習	卒業論文
	電気基礎実習	計算機実習Ⅰ	
	中等技術科教育法Ⅰ	中等技術科教育演習Ⅰ	

計算機実習Ⅰ

中学校技術の情報についての理解を深めるために、コンピュータを利用した実習です。1人1台のRaspberry Piを使用して、Linuxの操作やエディタ、ファイル操作、ネットワークの基礎について実習を通じて学びます。ScratchやPythonを利用したプログラミングも実習に含まれており、論理的思考力の養成にもなります。

栽培学（実習を含む）

中学校技術の生物育成分野に関する基礎的な知識と技術の理解を目的として、講義と実習を実施します。気候や立地に適応する各作物の栽培特性を習得し、土壌の化学性、物理性を知り、その上に生育する作物の生理的な特性を理解します。実習では、キャンパス内の畑で野菜を育て、種まきから収穫まで行います。

MESSAGE

学生メッセージ ● 3年生 Y. M. さん（日川高校出身）

少人数授業で一度に学べることが多く、質の高い授業や実習に取り組めることが魅力

技術に関する様々な分野の専門的な学習や木材加工や金属加工などの実習授業がありとても充実した学校生活を送っています。少人数で授業を行なっているため、一度に学べることが多く質の高い授業に取り組めていることも魅力的です！ また現在、社会科の免許も取るために社会科の授業も履修して勉強に励んでいます。

教員メッセージ ● 山際　基 先生（専門分野：情報工学）

生活が便利になる技術から人生を楽しむ、豊かにする技術までを育む。

「技術」を通じて様々な考え方や新たな発見をしてください。技術は人間にとって不可能であったことを可能にしてきました。これからも新たな技術が生み出されることでしょう。講義や実験・実習で得ることは、教員になるために必要となるだけではなく、生活に役立ち、充実した人生をおくれることにつながります。

芸術身体教育コース 音楽教育系

取得免許（卒業要件）

小学校一種 ＋ 中学校二種（音楽）
または
中学校一種（音楽） ＋ 小学校二種

学生が近年取得したその他の免許

高等学校一種（音楽） など

「感じる・表現する・創作する喜び」を分かち合う

音楽教育系では、音楽能力の専門性を高め、それを教育現場など社会へ還元するための応用力を養うことを目指しています。声楽、ピアノはもちろん、音楽理論や東洋・西洋音楽史、管弦打楽器・邦楽器・リコーダー実習、指揮法などの音楽専門科目や、初等・中等音楽科教育法など教職関連科目をバランスよく学ぶほか、声楽、器楽、作曲・編曲、音楽学、音楽教育などのいずれかの分野を選択し専門的に学習します。

また、一般の方にもご来場いただいている年4回の「水曜イヴニングコンサート」や、県内のホールを会場に盛大に開催される卒業演奏会など、演奏や作品の発表機会が多いことも、音楽教育系の特徴の一つです。きめ細やかな少人数制で、伸びやかに個性を育てます。

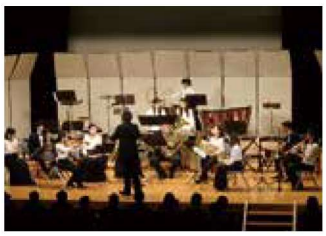
● カリキュラム・特徴ある授業や取り組み ●

音楽科の学習指導内容である４つの領域「歌唱」「器楽」「創作」「鑑賞」を万遍なく履修できるカリキュラムとなっています。

音楽科教育や各専門領域について幅広く学び実践する力を身に着け、教科等の専門教養や持続的変態力を音楽の教材研究や授業づくりへと発展させていきます。教職関連科目と音楽専門科目をバランスよく学ぶことで、人や社会への関心を持ち他者と協働する、教職への熱意や教職教養を養います。

●主な授業科目

１年次	２年次	３年次	４年次
声楽実習Ⅰ･Ⅱ	声楽演習Ⅰ	ピアノアンサンブルⅠ･Ⅱ	歌唱芸術演習
ピアノ演奏演習Ⅰ･Ⅱ	ピアノ実習	音楽史Ⅱ	ピアノ特講
作曲基礎演習Ⅰ･Ⅱ	音楽理論Ⅰ･Ⅱ	現代音楽演習	声楽特講
合唱Ⅰ･Ⅱ	邦楽器実習	指揮法	音楽学特講
ソルフェージュ基礎	音楽史Ⅰ		作曲特講
管弦楽基礎研究Ⅰ･Ⅱ･Ⅲ	合奏法		卒業論文

合奏法

２年次前期で履修する「合奏法」の授業では、主に作音楽器を使用して、あらゆる音楽的要素をコントロールすることで音を混ぜ「サウンドさせる」技能や、他の人の演奏から多くのことを知覚・感受し、瞬時に自身の演奏に反映させて、表現のベクトルを揃えていく合奏に欠かせない基礎的なスキルを実践的に学びます。

水曜イブニングコンサート

水曜イブニングコンサートは、日頃の研鑽の成果を披露する演奏会で、年に4回開催されています。一般に公開され、音楽を分かち合う生きた学びの場となっています。自分の力の限りを尽くして物事に取り組み、その成果を聴いて頂くという体験は大きな自信になり、人生を通しての財産となります。

MESSAGE

学生メッセージ ― 1年生 S. E. さん（甲府西高校出身）

音楽を学び、音楽を考え、音楽を表現する。あとは楽しむ！

音楽の教員になるためには、幅広く音楽を学ぶ必要があります。ピアノの経験は多少あるものの、初めての声楽や作曲などは苦戦の連続です。しかし、同級生や先輩方から多くの刺激を受け、楽しく学んでいます。また、授業以外にもさまざまな発表の機会があり、その経験を通して、自分を高めていくことができます。

教員メッセージ ― 池山洋子 先生（専門分野：ピアノ）

音楽は、音を使った他者とのコミュニケーション

音楽を創作、演奏するには「自分の頭で考えること」が大切です。楽譜に書かれている音符や記号が何をどのように表現するために書かれているのか、論理的に読み解いていくのです。そしてまた、音楽の源は人間の感情です。音楽を深く学ぶことで、人間を理解し、共感する豊かな心を育むことができると確信しています。

芸術身体教育コース 美術教育系

取得免許（卒業要件）

小学校一種 ＋ 中学校二種（美術）
または
中学校一種（美術） ＋ 小学校二種

学生が近年取得したその他の免許

高等学校一種（美術） など

見て、触って、感じながら　美術を通して教育を探究

美術教育系では、「美術科教育」「絵画」「彫刻」「デザイン」「工芸」「美術理論・美術史」の科目が開講され、小学校の教員免許・中学校（美術）・高等学校（美術）の教員免許を取得することができます。

実際に見て、触って、感じながら世界を発見していくことは、私たちが生きていく上で大切なことです。また、さまざまな美術作品や表現に出会うことで、多様な文化や思想に触れることができます。美術と美術教育を学んで、子どもが成長するなかで自ら表現することの意義について、考えを深めていきましょう。

美術を通して、教育について広く深く学び、考え、社会や地域でさまざまな環境にいる子どもたちに寄り添う力を養っていきます。

● カリキュラム・特徴ある授業や取り組み ●

美術教育系では、１年次より専門科目群から授業を選択して履修し、絵画や彫刻、デザインや工芸といったさまざまな表現について学びます。そして、子どもたちの成長のなかでの美術の意義について考え、図画工作科や美術科の教員としての資質・能力を身につけます。3年次には、教育実習を体験します。最終学年では、大学生活の集大成として美術教育に関する卒業論文を作成し、卒業論文発表会で口頭発表を行います。

●主な授業科目

１年次	２年次	３年次	４年次
初等図画工作科教育学 図画工作科内容論 学部入門ゼミ	中等美術科教育法Ⅰ･Ⅱ 造形計画演習 彫塑 基礎構成 木材工芸 美術理論	中等美術科教育法Ⅲ 絵画表現 実材彫刻 視覚伝達デザイン 陶芸基礎演習 美術史Ⅰ	中等美術科教育法Ⅳ 立体造形 環境デザイン ガラス工芸 美術史Ⅱ 卒業論文

中等美術科教育法Ⅰ～Ⅳ

中学校美術科と高等学校芸術科（美術）（＝中等美術科）の授業をするために必要なことを学びます。まずは授業の基本的な考え方などを講義で学びます。ただし、授業のやり方に正解はありません。ですから、さらに自分で美術の授業を構想し、模擬授業を試み、課題を発見して解決することで学びを深めていきます。

卒業論文発表会（卒業制作展）

美術教育系では他の系と同様に卒業論文を課しています。美術科教育、絵画、彫刻、デザイン、工芸、美術理論・美術史のいずれかの分野を選び、それぞれを専門とする教員の指導を受けます。その成果を卒業論文発表会にて公開し、実技を専攻する学生は卒業論文に加えて卒業制作展での作品発表も行います。

MESSAGE

学生メッセージ ● 2年生 W. M. さん（松本第一高校出身）

木の温もりを感じながら、作品を通じて思いを世界に。

2年の授業で初めて木彫を経験しました。素材の魅力や性質を知り、対話するかのように彫っていきます。その後、山梨県内や海外で、触るという形で鑑賞してもらう展覧会に出品しました。作品に込めた思いが鑑賞者に直に伝わっているようでした。多くの人と心を通わせ、新しい発見が生まれることを学びました。

教員メッセージ ● 平野千枝子 先生（専門分野：20世紀の美術）

あなたの生活のなかに、美術はありますか？
みんなの豊かな人生を探しましょう。

戦争によって世の中が大きく変わったあと、芸術家たちも、「美術」ってどんな意味があったのかと、深く考え直しました。私は美術の歴史のなかでも、とりわけそうした時代を研究しています。自然環境やメディア環境が大きく変化する今、美術を通じて世界をていねいに感じとり、伝えることができたらいいですね。

芸術身体教育コース 保健体育系

取得免許（卒業要件）

小学校一種 ＋ 中学校二種（保健体育）
または
中学校一種（保健体育） ＋ 小学校二種

学生が近年取得したその他の免許

高等学校一種（保健体育） など

生涯にわたる心身の健康を築き、明るい未来を切り拓く

人間の知的能力は知育のみで育まれるわけではなく、健康な身体と健全な思考を育む保健体育を土台に創出されます。保健体育系では、世の中を生き抜く頑健かつ柔軟な心身を標榜しつながら、人文・自然科学と体育の融合に基づく教育体制を目指しています。そして日々健やかな暮らしを送る見識を育む学校教育の担い手を輩出すべく、スポーツに打ち込みながら、体育・スポーツ学や体育科教育学など各分野の基礎を学習する環境を揃えました。加えて保健体育系は、他教科・他の学問領域にも通ずる身体運動の諸科学について幅広い見識を研鑽できる組織でもあります。こうした教育・研究環境のもと、学生は頭と身体の双方に汗をかきながら、日々理性と野性を研ぎ究めています。

● カリキュラム・特徴ある授業や取り組み ●

保健体育系では、体操、陸上、水泳、球技などの実技科目、運動学、体育心理学、運動生理学、体育社会学、衛生学などの講義科目をもとに、将来、小学校や中学・高等学校において体育及び保健体育の教育に従事する専門的な資質を備えた教員の育成を行っています。さらに保健体育科教育法や中等保健体育科教育法などといった教職科目において、保健体育科教育における教材研究、授業実践などについて研鑽を深めていきます。

●主な授業科目

1年次	2年次	3年次	4年次
体操	運動学	ダンス	球技
陸上	衛生学	栄養学	運動学演習
水泳	運動生理学	体育原理	運動生理学演習
武道・体つくり運動	学校保健管理	体育社会学	体育心理学演習
解剖・人体生理学	保健体育科教育法	体育心理学	卒業論文
救急処置看護法及び実習	中等体育科教育法	体育経営管理学	

中等保健体育科教育法Ⅱ

中等保健体育科教育法Ⅱは、主に３年次に教育実習を控えている2年生を対象に模擬授業を中心に行っています。学生自身が教師役を経験することで、指導案の作成方法や授業中の指導方法などを身につけることを目的としています。また、生徒役を経験することで、その授業の優れた点だけでなく改善点などについてまとめ、より良い授業を作る視点も養います。

運動生理学演習

運動生理学や神経生理学的な実験実習を教員の指導の下で一通り経験し、その後に自ら実験を企画・実施して、結果をまとめるといった体験をします。これにより、ちょっとした疑問や興味のある事を科学的に調べる方法論を学びます。実験機器を実際に扱ってデータを取得しますので、卒業研究の模擬体験ともなります。

MESSAGE

学生メッセージ ● 4年生 K. K. さん（甲陵高校出身）

共に笑い、共に泣ける最高の仲間に出会える。最高に楽しい４年間

同じ目標を持った個性豊かな人たちと一緒に、学びあいながら過ごすことができたこの4年間は最高に楽しい時間でした。この4年間で得ることができた数多くの思い出。将来ふと写真フォルダを見返した時、思い出し笑いしてしまう。そんな素敵な仲間たちに出会うことができます。私はそんな保健体育系が大好きです。

教員メッセージ ● 加藤朋之 先生（専門分野：スポーツ社会学）

立ち止まるな、新たな知の世界がまっている。常識は過去のもの。

保健体育には詩学があります。保健体育には哲学があります。走ること、投げること、叫ぶこと、笑うこと、人の身体は本当に不思議のかたまりです。保健体育を学ぶということは、まさにこの不思議と対峙することに他なりません。保健体育の教員になるということは、この不思議に立ち向かうことに他なりません。

山梨県小学校教員養成特別教育プログラム

取得免許（卒業要件）

小学校一種 ＋ 特別支援学校一種
または
小学校一種 ＋ 中学校二種

10教科（国語、英語、社会、家庭、数学、理科、技術、音楽、美術、保健体育）から一つを選びます。

山梨県内外の教育課題について広い視野から探究する

第一に、次代の山梨県の小学校教育を担う教員を養成すべく、山梨県教育委員会や教職大学院、附属学校などと連携を図り、山梨県内の教育課題について実践的に学び、その実践的な知識が学術的にどのような意味があるのか、国内外の教育課題とどのように連動しているのか、深く検討します。第二に、デジタル化やグローバル化といった社会の大きな流れに対して教員として対応する力を身につけるとともに、批判的に考えられる態度を身につけます。第三に、学んだ成果を他者に伝えることが重視され、レポートやプレゼンテーションの機会が頻繁に用意されます。なお、本プログラムには「山梨県の小学校教員志望者推薦入試」による入学者が在籍します。

● カリキュラム・特徴ある授業や取り組み ●

教育現場を肌で感じる実践中心の授業、小学生のこころとからだの発達に関する理論中心の授業、山梨県内外の教育をとりまく最先端の課題を探究する授業、実践と理論をつなぐためのデータリテラシーとICTスキルに関する授業など、現代の教育に対して多様な観点から学びます。1〜2年次は主として教員免許に必要な授業を履修することになるので、プログラムの専門科目の多くは3〜4年次に用意されています。

●主な授業科目

1年次	2年次	3年次	4年次
教育フィールド体験Ⅰ 子どもの育ちを支える校種間連携	デジタル教材の開発	学校外体験実習 海外学校観察実習 教育データの分析法 地域素材の教材化 小学生のこころの発達 小学校における多文化共生	教育フィールド体験Ⅱ 小学校教師論 山梨の教育事情 小学生の運動発達 ゼミナールⅠ ゼミナールⅡ

教育フィールド体験Ⅰ（附属小学校）

本プログラムの専門科目で、学生の皆さんが最初に出会う授業です。この授業では、実際に小学校へお邪魔して、教育現場における教師ー児童の関わりと児童同士の関わりを観察します。この実地体験を実りあるものにするため、「こころとからだ」の発達の視点を学び、体験から得た学びを理論的に位置づけます。

入学前教育から学部入門ゼミへの接続

入学前教育では、課題図書リストから各自で選んだ図書の推薦文を書きます。感想文と比べて推薦文は読み手を説得する必要があります。入学後の学部入門ゼミでは、論理的な論述の基準に照らし合わせながら、入学前教育で書いた推薦文の推敲をくり返し、レポートや論文作成のための基礎的なスキルを学びます。

MESSAGE

学生メッセージ ● 1年生 Y. H. さん（駿台甲府高校出身）

山梨県で小学校教員を目指す人、スタートダッシュを切りませんか。

このプログラムの魅力は学生と教師の距離感が近いことと観察実習を一年前期で行えることです。メッセージアプリを使用した交流や話し合いを気軽にできます。授業では自分で考察し、発表の場を設け知見を深めます。同じ志を持つ仲間たちと夢の実現に向けて進んでいます。皆さんも夢を実現させませんか。

教員メッセージ ● 川島亜紀子 先生（専門分野：発達心理学）

同じ目標を持つ多様な仲間たちと新しい〈　〉を創造しませんか。

本プログラムには、好きな教科や得意な教科が異なる学生たちが集まります。だから多様な意見を出しあいながら深く広く学べます。新設なので、未知の領域もありますが、学生と教員で創り上げていく楽しみもあります。プログラムでの学びとそれぞれの教科での学びをつなげながら、見識を深め広げてください。

教職支援室

Teaching Support Office

教職支援室は教員をめざす学生を全力で応援します！

教職支援室では、学生が主体的に教職へのキャリアを積み重ねていけるように、進路に関する個人面談、教育ボランティア、地域学習アシスト等、学校現場での活動の企画・運営や、教員採用試験対策講座・個別指導、教職支援のための教採データの収集分析を行っています。**4つの領域**ごとにそれぞれの特色を生かし、また関連させながら、学生のみなさんの自主的な学びを尊重しつつ、教職に関する支援を行います。

4つの領域

教職支援領域

教職への意識喚起や採用に関する相談、教員採用試験対策まで幅広く支援！

1年次から卒業・修了後までを見据え、学部・大学院の教員、徽典会（同窓会組織）と連携しながら支援を展開しています。教員採用試験対策講座や教員採用試験説明会の企画・運営、教員採用試験に関する個別指導（志願書の検討、小論文指導、個人面接指導等）、個人面談による進路調査（1～3年生全員を対象）、教員採用試験合格体験記等の収集・情報提供などを行っています。

総個別指導回数2294回
(2020.10～2021.9)
1人当たり
20.5回

学生カルテ・分析領域

教職キャリア・ポートフォリオ・システムが学生の自主学習をサポート！

スマートフォンで教員採用試験に関する様々な情報を収集し、自分の学習状況の確認や振り返りができる教職キャリア・ポートフォリオ・システム（通称：キャリポ）を運用し、教職を目指す学生の自主学習を支援しています。また、個に対応するきめ細かな支援を目指し、進路希望や学習履歴、教員採用試験結果、進路状況等の教職に関する調査を幅広く行い、分析も行っています。

教採対応を進めると…　アバターが成長！

教育ボランティア領域

学生が教育現場で子どもとふれあう「教育ボランティア活動」を支援！

学生と受入先との橋渡しをし、多様なボランティア活動が両者にとってプラスとなるように支援しています。また、学生運営委員会の自主運営により、教育ボランティア活動と学生との距離がぐっと身近になっています。受入先と学生のマッチング、ガイダンス・スタートセミナー・報告会の企画や運営、ガイダンスブックの作成、受入先訪問、教育ボランティアだより・通信の発行などを行っています。

教員採用試験に合格した
約9割の学生は
教育ボランティアに参加しています

教育ボランティア参加者数 2562人（平成17年～令和2年度の実績(16年間)）
年間平均 **160人**

地域学習アシスト領域

教育ボランティア活動をベースに、その発展形となる新たな活動です！

令和元年度に教育ボランティア活動の発展形となる新たな活動として、地域学習アシストをスタートさせました。地域学習アシストとは、本学独自の取組で、学生・大学教員・学校が学校現場の課題を共有し、解決策を探るプロジェクトです。学校の方針に基づいた学生のアシスト活動がより良いものとなるように、学部生・専攻科生・教職大学院生と大学教員からなるチームカンファレンスが支援します。

キャリア・就職
Career

関東・東海地方を中心に、全国各地へ教員を輩出しています。

卒業生の活躍

小澤 脩人さん
甲府市立玉諸小学校
山梨

高校生へのメッセージ
高校生活３年間は、本当にあっという間だと思います。勉強や部活動、友人と過ごす「今」の時間を大切にして、たくさん楽しんでほしいです。その中で、「自分はこれだけは絶対にやる」という目標を決めて、それを達成できるように全力で頑張ってほしいと思います。

教員としての近況
明るく、元気いっぱいな４年生の子どもたちと、充実した毎日を過ごしています。授業や教材を工夫したり、子どもたちと一緒に遊んだりすることはとても楽しいです。これからも子どもたちと共に、私自身も教師として成長していきたいと思います。

笹瀬 里佳子さん
なかの幼稚園
東京

高校生へのメッセージ
皆さんが思い描く夢や理想に満ちた大学生活を自分のものにして、楽しい日々を過ごしてください。また、大学時代は時間がたっぷりとあります。今までの自分と向き合い、これからの自分を考える時間を持って欲しいなと思います。

教員としての近況
毎日、子どもたちと楽しく過ごしています。もちろん、大変なことも嫌だと思うこともあります。それでも毎日頑張ることができているのは、自分が選んで就いた職業だからだと思っています。
これからも、学びの多い毎日を子どもたちと楽しんでいきたいです。

渡邊 勇太さん
長野県中野市立南宮中学校
長野

高校生へのメッセージ
いま夢中になれることに全力で取り組むこと。自分のやりたい・やってみたいという気持ちを大切に、いろんなことにチャレンジしてみてください。そこで感じたことは、必ず自分を成長させてくれると思います。

教員としての近況
子どもと向き合うことは自分自身と向き合うこと。失敗したり、悩んだりすることもありますが、たくさんの先生方や子どもたちに支えられて、充実した毎日を過ごしています。

越川 彩さん
山梨県立わかば支援学校
山梨

高校生へのメッセージ
進路や受験勉強と向き合う時間は辛くもありますが、自分の人生にとって大切な時間だと思います。先生、友だち、家族…支えてくれる人がいることを忘れずに、夢に向かって頑張ってください！

教員としての近況
小学部4年生の担任をしています。毎日子どもたちから多くの事を学ばせてもらっています。特別支援学校は1クラスの人数が少ないので、一人ひとりと深く関わることができ、子どもたちの小さな成長も大きな喜びです。

教員就職数とその他の進路

地域別教員就職数

		令和２年度	令和３年度
東北	青森・岩手・宮城・福島・山形	2人	1人
関東	茨城	1人	
	栃木	3人	1人
	群馬	1人	
	埼玉	1人	2人
	千葉	2人	
	東京	4人	2人
	神奈川	9人	1人
山梨		32人	43人
中部	長野	5人	4人
	静岡	8人	8人
	愛知	4人	
	新潟・富山・石川・福井・岐阜	4人	4人
四国	愛媛・徳島	2人	

校種別教員就職数

（）内は期間採用者数

	令和２年度	令和３年度
幼稚園他	3人	3人
小学校	42(9)人	38(2)人
中学校	20(3)人	16(2)人
高等学校	5(3)人	1(1)人
特別支援学校	8(1)人	8人

その他の進路

	令和２年度	令和３年度
企業	14人	20人
公務員	12人	17人
保育士	7人	3人
進学(諸学校含む)	18人	26人

主なその他の進路先（令和3年度）

企業・法人等

BANKAN わものや、DCM、アサヒサンクリーン、エヌディエス、エム・クラフト、ギミック、医療法人銀門会、熊本県民テレビ、コンピュータマインド、柴田屋酒店、スターゼン、デジタル・アドバタイジング・コンソーシアム、星野リゾート、向島書道教室、山梨日日新聞社、認定こども園くだま木もれびの家、あげお学童クラブの会中央小第二学童保育所、東京母子愛育会、南アルプス市役所（保育士）

公務員

甲府市役所、千曲市役所、東京国税局、南アルプス市役所、山梨県公立学校事務職員、山梨県庁

進学

山梨大学教職大学院、山梨大学特別支援教育特別専攻科、山梨大学大学院医工農学総合教育部修士課程、秋田国際教養大学大学院、大阪教育大学大学院、千葉大学大学院、東京学芸大学教職大学院

令和4年3月現在

教職大学院

Graduate School of Education

専門職である教師としての実践的力量を身につけよう！

山梨大学大学院　教育学研究科　教育実践創成専攻

2年間400時間の実習で学校現場に生きる即戦力を養成！現職教員の院生との協働で深い専門的知識を獲得！

「学生の皆さん！ 学校でベテラン教師と肩を並べて学習指導することに不安がないですか！」教職大学院では、卒業後の２年間で学校の様々な教育問題に対応できる即戦力を養成します。

特徴①【実習】県下の連携協力校（小・中・高）で自分の研究を実証的に進めることができます。

特徴②【授業】大学の研究者教員と学校現場で豊富な経験をもつ実務家教員のＴＴで実施、理論と実践を一緒に学ぶことができます。

教育課題や学校マネジメントを学ぶ「教育実践開発コース」と小･中･高の教科教育を学ぶ「教科領域実践開発コース」の２つのコースが用意されています。

教育実践開発コース

地域や学校の教育課題に対応する力、学校改善をマネジメントする力などの総合的な実践力を有する教員を以下の２分野において養成します。

学校マネジメント分野

学校経営、学校安全と危機管理、学校改善などに関する力を有し、学校づくりをリードできる教員を育成します。

教師力育成分野

学校が抱える様々な問題を解決する力を有し、カリキュラム開発、教育臨床、異校種間の連携、地域との連携を実践する力を有する教員を育成します。

教科領域実践開発コース

小学校、中・高等学校の各教科において、質の高い教材研究をもとに授業を開発し、それを適切に評価して改善に役立てることができる教員を以下の２分野において養成します。

初等教科教育分野

小学校の各教科において、質の高い教材研究をもとに授業を開発し、それを適切に評価して改善に役立てることができる教員を養成します。

中等教科教育分野

中・高等学校の各教科において、質の高い教材研究をもとに授業を開発し、それを適切に評価して改善に役立てることができる教員を養成します。

院生メッセージ

2年生
A. I. さん
教育実践開発コース

大学院での学びで得た理論と学校現場での実践との往還から、実践的指導力を培うことのできる環境

専門性の高い授業から得た学びと週１日の実習での実践が結び付くように、常に課題意識を持ち続け、教職大学院での学修に取り組んでいます。子どもの「わかった！できた！」が得られるように、教師として何が必要なのか、学んだことをどのように活用するかを考えるようになりました。現職教員・ストレートマスターの枠組みを越えて学び合う仲間や教職大学院の先生方と共に実践的な指導力を高めていきませんか！

1年生
K. W. さん（現職）
教育実践開発コース

理論と実践の往還を通して、新たな教育実践の創造をめざす。教師としての成長の場

教職大学院での学びを通して、私はこれまでの教育実践への理論的な価値づけを行うことができたと同時に、教育に対する幅広い知見を新たに得ることができました。院生の協働による学びはもちろん、連携協力校での教育実習は貴重な学びの場となりました。そして、最大の魅力は学びや研究に対して、大学の先生方がきめ細やかなサポートをして下さることです。教師として成長できる最高の環境がここにはあります。

入試情報 Admission Information

教育学部入試のポイント

教育学部では教員を目指す強い意志を持った人を求めています。
そのために、以下のような資質・能力を持つ人の受験を期待します。

- 子どもの育ちや学校教育について高い関心を持てる人
- 自ら深く学ぶために課題を見出すことができる人
- 課題の解決に向けた探求の努力を継続する意欲のある人
- 多様な考えの人たちと協力できるコミュニケーション能力や協調性を備えた人

学校推薦型選抜Ⅰ、一般選抜（前期・後期）で面接※（個人または集団）があります。

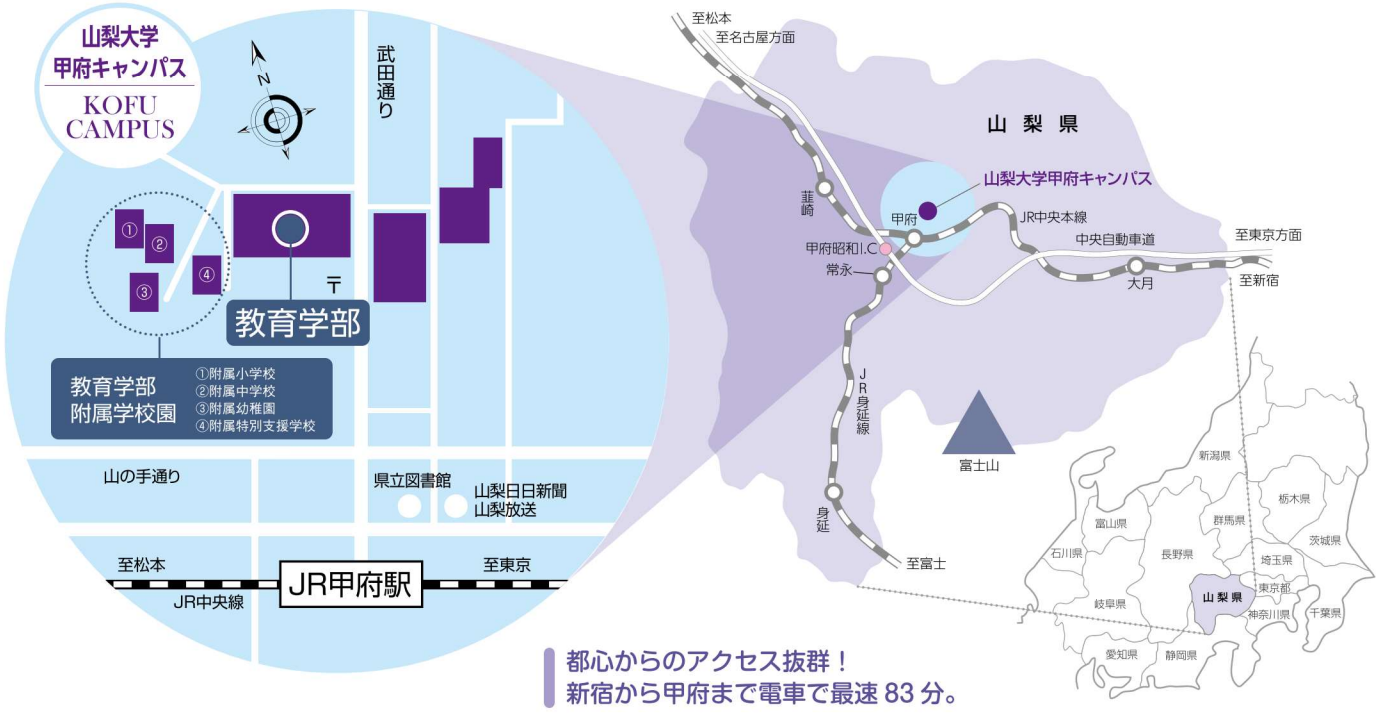
※技術教育系の専門・総合学科推薦入試では口頭試問

学校推薦型選抜Ⅰ

- 教科別推薦入試は **12のコース・系ごとに募集**
- 専門・総合学科推薦入試は **家政教育系・技術教育系で実施**
- 山梨県小学校教員養成特別教育プログラムは **「山梨県の小学校教員志望者推薦入試」のみで募集**

アクセス Access

電車	車	バス
JR中央本線（甲府駅）下車後、徒歩で15分	中央自動車道（甲府昭和IC）下車後、車で20分	甲府駅北口２番バス乗り場より〈武田神社〉または〈積翠寺〉行、〈山梨大学〉下車



都心からのアクセス抜群！
新宿から甲府まで電車で最速83分。

国立大学法人
山梨大学 教育学部

〒400-8510 山梨県甲府市武田4丁目4番37号
TEL.055-220-8103（広報担当）
https://www.edu.yamanashi.ac.jp

2022年5月発行